

b. 鳥類相の状況

鳥類相の調査結果は、表 5. 10. 7(1)～(3)に示すとおりである。

現地調査で生息が確認された鳥類は 12 目 35 科 114 種であった。夢洲では 12 目 33 科 100 種、舞洲では 10 目 29 科 66 種が確認された。

表 5. 10. 7(1) 鳥類相の調査結果

目名	科名	種名	渡り区分	確認状況															
				夢洲						舞洲									
				冬季	春季	繁殖 前期	繁殖 後期	夏季	秋季	冬季	春季	繁殖 前期	繁殖 後期	夏季	秋季	冬季			
カモ	カモ	ツクシガモ	冬鳥	124							103								
		オカヨシガモ	冬鳥	54	28	2	1				4	4							6
		ヨシガモ	冬鳥						5										
		ヒドリガモ	冬鳥	5	5	2			10	2	9								4
		マガモ	冬鳥	24	3		1				3								
		カルガモ	留鳥	36	42	39	106	96	53	8	10	6	1	3					3
		ハシビロガモ	冬鳥	334	136	44		2	27	5	11								27
		オナガガモ	冬鳥	102	2					22	11								
		シマアジ	旅鳥		1	4													
		コガモ	冬鳥	618	204	39	1		135	155		1							48
		ホシハジロ	冬鳥	1653	21	9	13	6		612	52	3	1						60
		キンクロハジロ	冬鳥	232	74	4			3	41									1
		スズガモ	冬鳥	20	394	316	26	9	7										4
		ホオジロガモ	冬鳥	1							1								
ウミアイサ	冬鳥	8																	
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	留鳥	3	12	7	16	22	25										
		カンムリカイツブリ	冬鳥	2						1	1								3
		ハジロカイツブリ	冬鳥	1					2	1									1
ハト	ハト	キジハト	留鳥	6	3	9	2	7	6	1	14	2	4	4	7	7	5		
カツオドリ	ウ	カワウ	留鳥	3	10	46	53	113	73	3	3	3	67	14	15	3	4		
ペリカン	サギ	アオサギ	留鳥	1	5	2	8	33	14	5	1	2	3	1	7	3	1		
		ダイサギ	留鳥					1	9			1	1	1	2	1			
		コサギ	留鳥							1									
	トキ	ヘラサギ	迷鳥	2						8									
ツル	クイナ	ヒクイナ	夏鳥					1											
		バン	留鳥				3	2	1										
		オオバン	留鳥	34	16	1		2	2	7	19	2						42	
チドリ	チドリ	タグリ	冬鳥							1									
		ケリ	留鳥				3							3					
		ムナグロ	旅鳥						8										
		ダイゼン	旅鳥						3										
		コチドリ	夏鳥		10	28	7	23	7					1					
		シロチドリ	留鳥		8	4	4	62	11	9									
		メダイチドリ	旅鳥		18	6		7											
	セイタカシギ シギ	セイタカシギ	旅鳥		1			2	9										
		ヤマシギ	冬鳥								1								
		タシギ	冬鳥	3		1			1	3									
		オオソリハシシギ	旅鳥			1													
		チュウシャクシギ	旅鳥		10	4			2			8	5						
		ツルシギ	旅鳥						2										
		コアオアシシギ	旅鳥						3										
		アオアシシギ	旅鳥		6	2		2	15										
タカブシギ	旅鳥						6												
キアシシギ	旅鳥		4	45		7	1				1								
ソリハシシギ	旅鳥		5	3		4	5												

注：1. 分類及び配列は、「日本鳥類目録 改訂第7版」（日本鳥学会、平成24年）に準拠した。  
 2. 科、亜科、属、上種としたもののうち、他種と重複する可能性があるものについては、種数の合計から除外した。  
 3. 渡り区分は「大阪府鳥類目録2016」（(財)日本野鳥の会大阪支部、平成28年）に準拠した。  
 4. 表中の数字は、季別の総確認例数である。

表 5.10.7(2) 鳥類相の調査結果

目名	科名	種名	渡り区分	確認状況													
				夢洲						舞洲							
				冬季	春季	繁殖前期	繁殖後期	夏季	秋季	冬季	春季	繁殖前期	繁殖後期	夏季	秋季	冬季	
チドリ	シギ	イソシギ	留鳥	2	1	6	2	3	13	1	4	2	5			5	6
		キョウジョシギ	旅鳥		11	1						1					
		ミユビシギ	旅鳥						4								
		トウネン	旅鳥		15	44		80	29								
		オジロトウネン	旅鳥		1				1	3							
		ヒバリシギ	旅鳥						3								
		ウズラシギ	旅鳥		1	1		2									
		サルハマシギ	旅鳥						1								
		ハマシギ	冬鳥	3	242	89		12	6	14							
		キリアイ	旅鳥						1								
	エリマキシギ	旅鳥						1									
	アカエリヒレアシシギ	旅鳥					4										
	ツバメチドリ	ツバメチドリ	旅鳥一部夏鳥				4	4									
カモメ	ユリカモメ	冬鳥一部留鳥		251			2										
	ズグロカモメ	冬鳥							1								
	ウミネコ	留鳥					28	59						3	2		
	セグロカモメ	冬鳥	8	10				21	4	3	4				4	2	
	コアジサシ	夏鳥		52	306	98					22	16	41				
	クロハラアジサシ	旅鳥						1									
タカ	ミスゴ	ミスゴ	留鳥	10	3	2		3	30	2	2	1				4	
	タカ	トビ	留鳥	13	1	3		1	7	19	1	1		3		4	1
		チュウヒ	冬鳥	2	1					5							
		ハイタカ	冬鳥	1							1						
フクロウ	フクロウ	冬鳥		1													
ブッポウソウ	カワセミ	留鳥					1										
ハヤブサ	ハヤブサ	冬鳥	2			3	3	6	1				1	2			
	ハヤブサ	留鳥	1	2					2								
スズメ	モズ	モズ	留鳥	1			1			4	4	1		3		3	8
	カラス	ハシボソガラス	留鳥	18	19	5	4	6	17	10	1	4	2	11	5	9	
		ハシブトガラス	留鳥	73	23	12	22	6	13	48	12	17	15	6	19	17	24
	ツリスガラ	ツリスガラ	冬鳥	2	2												
	シジュウカラ	シジュウカラ	留鳥											1			3
	ヒバリ	ヒバリ	留鳥	55	32	45	30	15	4	77	2	5	12	4	2	2	
		ツバメ	シウドウツバメ	旅鳥						2							
	ツバメ	ツバメ	夏鳥		6	8	38	72	39			12	19	51	23	11	
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	留鳥	10		2				6	41	21	31	25	15	15	44
	ウグイス	ウグイス	留鳥	2							5	2					
		ヤブサメ	夏鳥									3					2
	ムシクイ	オオムシクイ	旅鳥						1								1
		エゾムシクイ	旅鳥									1	1				
		センダイムシクイ	夏鳥										1				
		メボソムシクイ上種	旅鳥														1
	メジロ	メジロ	留鳥								14	12	1			6	78
	ヨシキリ	オオヨシキリ	夏鳥		1	3	3	1	1				1				
	セッカ	セッカ	留鳥	2	16	42	39	28	16			2	3	5			
	ムクドリ	ムクドリ	留鳥	134	5	3	340	96	40	20	6	27	21	92	68	18	67
		コムクドリ	旅鳥												2	1	
	ヒタキ	シロハラ	冬鳥								8						19
		ツグミ	冬鳥	35	21					21	29	66	1				13
		ジョウビタキ	冬鳥	7						2	7						8
ノビタキ		旅鳥						3									
イノヒヨドリ	留鳥	1					3	1					2	1	8		

注：1. 分類及び配列は、「日本鳥類目録 改訂第7版」（日本鳥学会、平成24年）に準拠した。  
 2. 科、亜科、属、上種としたもののうち、他種と重複する可能性があるものについては、種数の合計から除外した。  
 3. 渡り区分は「大阪府鳥類目録2016」（（財）日本野鳥の会大阪支部 平成28年）に準拠した。  
 4. 表中の数字は、季別の総確認例数である。

表 5. 10. 7 (3) 鳥類相の調査結果

目名	科名	種名	渡り区分	確認状況															
				夢洲						舞洲									
				冬季	春季	繁殖 前期	繁殖 後期	夏季	秋季	冬季	冬季	春季	繁殖 前期	繁殖 後期	夏季	秋季	冬季		
スズメ	ヒタキ	エゾビタキ	旅鳥														1		
		コサメビタキ	旅鳥一部夏鳥										1					2	
		キビタキ	夏鳥											1				4	
		オオルリ	夏鳥										1					1	
	スズメ	スズメ	留鳥	93	45	21	26	59	172	243	35	103	73	59	19	35	28		
	セキレイ	キセキレイ	留鳥							2								3	
		ハクセキレイ	留鳥	24	13	15	9	9	42	27	7	7	7	6	1	8	8		
		タヒバリ	冬鳥	37	8	2					30	1	1						18
	アトリ	アトリ	冬鳥																40
		カワラヒワ	留鳥一部冬鳥	8	4	1	12	24	35	5	23	10	11	12		2	13		
		ベニマシコ	冬鳥	7								1							
		イカル	留鳥一部冬鳥										1						
	ホオジロ	ホオジロ	留鳥	27							6	7	1						4
ホオアカ		冬鳥	3																
アオジ		冬鳥	9	3						3	14	8						13	
オオジュリン		冬鳥	125							43								2	
ハト	ハト	カワラバト	移入種	16	5	8	24	87	39	11	71	10	21	70	4	22	40		
スズメ	ムクドリ	ハッカチョウ	移入種			1													
合計				12 目 33 科 100 種						10 目 29 科 66 種									
				12 目 35 科 114 種															

- 注：1. 分類及び配列は、「日本鳥類目録 改訂第7版」（日本鳥学会、平成24年）に準拠した。  
 2. 科、亜科、属、上種としたもののうち、他種と重複する可能性があるものについては、種数の合計から除外した。  
 3. 渡り区分は「大阪府鳥類目録2016」（財）日本野鳥の会大阪支部、平成28年）に準拠した。  
 4. 表中の数字は、季別の総確認例数である。

c. 爬虫類・両生類相の状況

爬虫類、両生類相の調査結果は、表 5.10.8 及び表 5.10.9 に示すとおりである。

現地調査で生息が確認された爬虫類は 2 目 5 科 5 種であった。夢洲では 2 目 3 科 3 種、舞洲では 2 目 4 科 4 種が確認された。

現地調査で生息が確認された両生類は 1 目 3 科 3 種であった。夢洲では 1 目 3 科 3 種、舞洲では 1 目 2 科 2 種が確認された。

表 5.10.8 爬虫類相の調査結果

目名	科名	種名	確認状況					
			夢洲			舞洲		
			春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
カメ	ヌマガメ	ミシシippアカミミガメ	1	1	1		2	5
有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ				3		3
	トカゲ	ニホントカゲ	2			3	4	
	カナヘビ	ニホンカナヘビ				3	1	3
	ナミヘビ	シマヘビ	1					
合計			2 目 3 科 3 種			2 目 4 科 4 種		
			2 目 5 科 5 種					

注：1. 分類及び配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和 2 年度生物リスト）」（国土交通省、令和 2 年）に準拠した。

2. 表中の数字は、季別の総確認例数である。

表 5.10.9 両生類相の調査結果

目名	科名	種名	確認状況					
			夢洲			舞洲		
			春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	1					
	アカガエル	トノサマガエル		1			1	2
	ヌマガエル	ヌマガエル	30	456	52	4		
合計			1 目 3 科 3 種			1 目 2 科 2 種		
			1 目 3 科 3 種					

注：1. 分類及び配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和 2 年度生物リスト）」（国土交通省、令和 2 年）に準拠した。

2. 表中の数字は、季別の総確認例数である。

#### d. 昆虫類相の状況

昆虫類相の調査結果概要は、表 5.10.10 に示すとおりである。昆虫類は確認種数が多いため、目別、確認位置別（夢洲及び舞洲）に確認された科数及び種数を整理した。

現地調査で生息が確認された昆虫類は 180 科 591 種であった。夢洲では 141 科 385 種、舞洲では 150 科 427 種が確認された。

表 5.10.10 昆虫類相の調査結果概要

目名	夢洲		舞洲		合計		主な現地調査確認種
	科数	種数	科数	種数	科数	種数	
トビムシ目	1	1	1	1	2	2	ツチトビムシ科、アヤトビムシ科
トンボ目	5	13	4	12	5	18	ギンヤンマ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ
ゴキブリ目	2	2	2	2	2	3	ヤマトゴキブリ、モリチャバネゴキブリ
カマキリ目	1	1	1	2	1	3	ハラビロカマキリ、オオカマキリ
シロアリ目	-	-	1	1	1	1	ヤマトシロアリ
ハサミムシ目	2	3	1	3	2	4	ハマベハサミムシ、オオハサミムシ
バッタ目	9	22	10	24	10	28	クビキリギス、ケラ、トノサマバッタ
チャタテムシ目	-	-	3	3	3	3	<i>Valenzuela</i> 属、 <i>Ptycta</i> 属
カメムシ目	27	63	26	71	33	98	セジロウンカ、アブラゼミ、アオクサカメムシ
アミメカゲロウ目	2	5	2	4	3	6	ヤマトクサカゲロウ、スズキクサカゲロウ
トビケラ目	6	6	2	2	7	7	ムネカクトビケラ、マツイヒメトビケラ、ニンギョウトビケラ
チョウ目	15	46	16	46	18	73	チャノコカクモンハマキ、ツバメシジミ、スジキリヨトウ
ハエ目	27	67	31	79	35	105	ウスイロユスリカ、ミナミヒメヒラタアブ、ミドリキンバエ
コウチュウ目	30	118	37	130	41	176	セアカヒラタゴミムシ、ニセヒメユミセミヅハネカクシ、ツシマヒメサビキコリ
ハチ目	14	38	13	47	17	64	トビイロシワアリ、フタモンアシナガバチ本土亜種、シロスジヒゲナガハナバチ
合計	141 科 385 種		150 科 427 種		180 科 591 種		-

- 注：1. 分類及び配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和 2 年度生物リスト）」（国土交通省、令和 2 年）に準拠した。
2. 主な現地調査確認種は、個体数の多いものや調査範囲の代表的な環境に生息する種を記載した。
3. 「-」は、確認されなかったことを示す。
4. 「～属」、「～科」については、同属の確認例がある場合には種数に計上していない。

e. 底生生物

底生生物相の調査結果は、表 5.10.11(1)、(2)に示すとおりである。

現地調査で生息が確認された底生生物は、夢洲で7網14目33科65種であった。

表 5.10.11(1) 底生生物相の調査結果

綱名	目名	科名	和名	夢洲				
				冬季	春季	夏季	秋季	
腹足	汎有肺	モノアラガイ	ハブタエモノアラガイ				1	
		サカマキガイ	サカマキガイ	1		21	3	
ゴカイ	サンバゴカイ	ゴカイ	オイワケゴカイ	4			33	
ミミズ	イトミミズ	ミズミミズ	ウチワミミズ		11	18	31	
			ミズミミズ	176				
			ミズミミズ亜科	3,712	773			
			イトミミズ亜科				1	
ヒル	吻蛭	ヒラタビル	ヌマビル	1		27	8	
顎脚	フジツボ	フジツボ	ヨーロッパフジツボ	2	2	25	8	
軟甲	タナイス	タナイス	キスイタナイス			102		
	ヨコエビ	ハマトビムシ	ヒメハマトビムシ	4			1	
			ニホンヒメハマトビムシ				7	
		キタヨコエビ	ボシエビトゲオヨコエビ	31	66	39	1	
	エビ	テナガエビ	ユビナガスジエビ	11	16	5	26	
		Panopeidae	ミナトオウギガニ				10	
		ベンケイガニ	クロベンケイガニ		1	1		
			カクベンケイガニ			7	4	
	モクズガニ	<i>Hemigrapsus</i> 属			1			
	昆虫	カゲロウ (蜉蝣)	コカゲロウ	<i>Cloeon</i> 属			1	1
トンボ (蜻蛉)		イトトンボ	ホソミイトトンボ				1	
			<i>Ischnura</i> 属	11	9	27	11	
			<i>Paracercion</i> 属	26	10	5	8	
		ヤンマ	ギンヤンマ		4	2	1	
			<i>Anax</i> 属	4	2	1	6	
		サナエトンボ	タイワンウチワヤンマ			1	1	
		トンボ	ショウジョウトンボ		19	14		12
			コフキトンボ		2			3
			シオカラトンボ		3	5	8	4
			チョウトンボ			4		
			タイリクアカネ			2		
			<i>Sympetrum</i> 属				3	
		カメムシ (半翅)	アメンボ	アメンボ			2	2
イトアメンボ			ヒメイトアメンボ			1		
ミズカメムシ			ムモンミズカメムシ				4	
			ヘリグロミズカメムシ				2	
カタビロアメンボ			ホルバートケシカタビロアメンボ			1		
			<i>Microvelia</i> 属		1			
ミズムシ (昆)			クロチビミズムシ		1			13
			<i>Micronecta</i> 属		4		3	1
		ホテイコミズムシ				16	5	

注：1. 分類及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト (令和2年度生物リスト)」(国土交通省、令和2年)に準拠した。

2. 科、亜科、属としたもののうち、他種と重複する可能性があるものについては、種数の合計から除外した。

3. 表中の数字は、季別の総確認例数である。

表 5. 10. 11 (2) 底生生物相の調査結果

綱名	目名	科名	和名	夢洲			
				冬季	春季	夏季	秋季
昆虫	カメムシ (半翅)	ミズムシ (昆)	アサヒナコミズムシ	1			3
			ハラグロコミズムシ	3			
			エサキコミズムシ		7	9	
			コミズムシ			4	
			<i>Sigara</i> 属			3	4
			ミズムシ科 (昆)		3		3
		コオイムシ	コオイムシ			1	
			<i>Appasus</i> 属		2	4	
		マツモムシ	コマツモムシ	1	2	18	8
	マルミズムシ	マルミズムシ		7	1	3	
	トビケラ (毛翅)	ムネカクトビケラ	<i>Ecnomus</i> 属	2			
	ハエ (双翅)	ユスリカ	<i>Ablabesmyia</i> 属	5	294		6
			<i>Chironomus</i> 属	42	111	239	7
			<i>Dicrotendipes</i> 属	3			
			<i>Heterotrissocladius</i> 属	8			
			<i>Polypedilum</i> 属	3	312		33
			<i>Procladius</i> 属		23		
			<i>Psectrocladius</i> 属		42		4
			<i>Tanytarsus</i> 属		40	32	12
			ユスリカ科				7
		ハナアブ	ハナアブ科				3
	ミギワバエ	ミギワバエ科		4			
	コウチュウ (鞘翅)	ゲンゴロウ	チャイロチビゲンゴロウ		1		2
			ハイイロゲンゴロウ		1		
			チビゲンゴロウ	1			1
			ケシゲンゴロウ		13	5	3
			<i>Hyphydrus</i> 属			1	
		ガムシ	トゲバゴマフガムシ			13	4
			ニッポントゲバゴマフガムシ		2		
			<i>Berosus</i> 属				1
			セマルガムシ				1
			チビヒラタガムシ		2		1
			キイロヒラタガムシ		3		1
ルイスヒラタガムシ				4		15	
ヒメガムシ				7		2	
ガムシ科				1			
ナガドロムシ	タマガワナガドロムシ		1				
合計				7 綱 14 目 33 科 65 種			

注：1. 分類及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト (令和2年度生物リスト)」(国土交通省、令和2年)に準拠した。

2. 科、亜科、属としたもののうち、他種と重複する可能性があるものについては、種数の合計から除外した。

3. 表中の数字は、季別の総確認例数である。

### ③ 重要な種の確認状況

#### a. 選定根拠

調査地域に生息する陸域動物について、表 5.10.12 の選定根拠に基づき、学術上または希少性の観点から重要な種を抽出した。

表 5.10.12 重要な種の選定根拠

区分	重要種選定基準	カテゴリー
①	文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号） 大阪府文化財保護条例（昭和 44 年大阪府条例第 5 号） 大阪市文化財保護条例（平成 11 年大阪市条例第 5 号）	国特天：国指定特別天然記念物
		国天：国指定天然記念物
		府天：大阪府指定天然記念物
		市天：大阪市指定天然記念物
②	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 （平成 4 年法律第 75 号）	国内：国内希少野生動植物種
		特別：特別国内希少種動植物種
		国際：国際希少野生動植物種
		緊急：緊急指定種
③	「環境省レッドリスト 2020」（環境省、令和 2 年）	EX：絶滅
		CR：絶滅危惧 I A 類
		EN：絶滅危惧 I B 類
		CR+EN：絶滅危惧 I 類
		VU：絶滅危惧 II 類
		NT：準絶滅危惧
		DD：情報不足
LP：絶滅のおそれのある地域個体群		
④	「近畿地区・鳥類レッドデータブック —絶滅危惧種判定システムの開発—」（京都大学学術出版会、平成 14 年） ※近畿地方全体におけるカテゴリーを示す。	繁殖：繁殖個体群
		越冬：越冬個体群
		通過：通過個体群
		夏季：夏季滞在個体群
		1：危機的絶滅危惧
		2：絶滅危惧
		3：準絶滅危惧
4：要注目		
⑤	「大阪府レッドリスト 2014」（大阪府、平成 26 年）	EX：絶滅
		CR+EN：絶滅危惧 I 類
		VU：絶滅危惧 II 類
		NT：準絶滅危惧
		DD：情報不足

b. 既存資料調査

既存資料調査による重要な種は表 5. 10. 13 のとおり、哺乳類 2 目 2 科 3 種、鳥類 14 目 32 科 107 種、爬虫類 1 目 2 科 2 種、両生類 2 目 2 科 3 種、昆虫類 4 目 11 科 18 種が確認された。

表 5. 10. 13 重要な動物（既存資料調査）

項目	確認種数	種名
哺乳類	2 目 2 科 3 種	ハタネズミ、カヤネズミ、イタチ
鳥類	14 目 32 科 107 種	ツクシガモ、ヨシガモ、アメリカヒドリ、マガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、ウミアイサ、カンムリカイツブリ、アカオネツタイチョウ、ウミウ、ヨシゴイ、ササゴイ、アマサギ、チュウサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、クイナ、ヒクイナ、オオバン、ホトトギス、タゲリ、ケリ、ムナグロ、ダイゼン、イカルチドリ、コチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、セイタカシギ、タシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ハウロクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアアシシギ、アオアシシギ、カラフトアオアシシギ、クサシギ、タカブシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、イソシギ、キョウジョシギ、オバシギ、コオバシギ、ミユビシギ、トウネン、オジロトウネン、ヒバリシギ、ウズラシギ、サルハマシギ、ハマシギ、ヘラシギ、キリアイ、エリマキシギ、タマシギ、ツバメチドリ、ズグロカモメ、ウミネコ、シロカモメ、オオセグロカモメ、コアジサシ、ベニアジサシ、ハジロクロハラアジサシ、ミサゴ、チュウヒ、ハイイロチュウヒ、ハイタカ、オオタカ、サシバ、ノスリ、トラフズク、コミミズク、カワセミ、アリスイ、アオゲラ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、サンコウチョウ、クキイタダキ、ツリスガラ、ヒバリ、コシアカツバメ、オオムシクイ、メボソムシクイ上種、エゾムシクイ、センダイムシクイ、オオヨシキリ、セッカ、クロツグミ、コルリ、ノビタキ、イソヒヨドリ、エゾビタキ、サメビタキ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリ、ハクセキレイ、ベニマシコ、シメ、アオジ、オオジュリン
爬虫類	1 目 2 科 2 種	アカウミガメ、ニホンイシガメ
両生類	2 目 2 科 3 種	カスミサンショウウオ、ブチサンショウウオ、ツチガエル
昆虫類	4 目 11 科 18 種	コバネアオイトトンボ、ベニイトトンボ、ヒヌマイイトトンボ、アオヤンマ、ナツアカネ、アキアカネ、ナニワトンボ、ノシメトンボ、コヒゲジロハサミムシ、オオチャバネセセリ、ブチヒゲヤナギドクガ、オオヒョウタンゴミムシ、ヨドシロヘリハンミョウ、ゲンゴロウ、シャープゲンゴロウモドキ、マルガタゲンゴロウ、ケシゲンゴロウ、ジュウクホシテントウ

注：メボソムシクイ上種にはメボソムシクイ、オオムシクイ、コムシクイの3種が該当するが、重要な種として指定されているのはオオムシクイのみである。

### c. 現地調査

現地調査で確認された重要な種の確認状況に記載している確認位置を示す用語の定義は、表 5. 10. 14、確認状況の概要は表 5. 10. 15(1)～(7)に示すとおりである。

現地調査において生息が確認された重要な種は、哺乳類 1 種、鳥類 67 種、両生類 1 種、昆虫類 16 種の合計 85 種であり、このうち会場予定地、(仮称) 舞洲駐車場予定地のいずれかまたは両方で確認された種は、哺乳類 1 種、鳥類 53 種、昆虫類 8 種の合計 62 種であった。なお、重要な種保護の観点から確認位置図は掲載しないこととした。

表 5. 10. 14 確認位置を示す用語の定義

用語	定義
草地	路傍・空地雑草群落や公園（樹林地以外）等、草本類が優占する環境
樹林	舞洲の植栽樹林群等、木本類が優占する環境
裸地	造成地等、植生の乏しい環境（砂礫地を含む）
人工構造物	建物、道路、堤防等の構造物
開放水面	抽水植物や沈水植物等による植生が成立していない大規模な水域・水面
水際部	大規模な開放水面の周囲に分布する、水域と陸域の境界線及びその付近
湿地	抽水植物や沈水植物等が生育している、比較的小規模な水域および湿生植物群落が成立している範囲
水たまり	降雨後に一時的に出現する小規模な水域
湛水域	夢洲南側のウォーターワールドとなるエリアに存在する水域

表 5. 10. 15(1) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
		全国	近畿 大阪	夢洲		舞洲		
				会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
哺乳類	カヤネズミ		NT	—	—	○	○	【舞洲】春季に(仮称)舞洲駐車場予定地内外の3か所で球巣、1か所で捕獲により1個体が確認された。夏季に(仮称)舞洲駐車場予定地の1か所で球巣が確認された。秋季に(仮称)舞洲駐車場予定地の2か所で球巣が確認された。
鳥類	ツクシガモ	VU	越冬:2	○	○	—	—	【夢洲】冬季に会場予定地の開放水面及び水際部で221例、会場予定地外で6例が確認された。
	ヨシガモ		越冬:3	—	○	—	—	【夢洲】秋季に夢洲南側の海上で5例が確認された。
	マガモ		繁殖:3	○	○	—	—	【夢洲】冬季、春季及び繁殖後期に確認され、会場予定地の主に開放水面及び水際部で26例、会場予定地外で5例が確認された。
	シマアジ		通過:3	○	—	—	—	【夢洲】春季及び繁殖前期に会場予定地の水際部で5例が確認された。
	ホオジロガモ		越冬:3	—	○	—	—	【夢洲】冬季に会場予定地外で2例が確認された。
	ウミアイサ		越冬:3 NT	○	○	—	—	【夢洲】冬季に会場予定地の開放水面で2例、会場予定地外で1例、夢洲北側の海上で5例が確認された。
	カムリカイツブリ		繁殖:3	—	○	—	○	【夢洲】冬季に夢洲北側と西側、南側のいずれも海上で3例が確認された。 【舞洲】冬季に舞洲北側の海上で4例が確認された。
	ヘラサギ	DD		○	—	—	—	【夢洲】冬季に会場予定地の開放水面及び水際部で10例が確認された。
	ヒクイナ	NT	繁殖:2 VU	—	○	—	—	【夢洲】夏季に会場予定地外で1例が確認された。
	オオバン		繁殖:3	○	○	—	○	【夢洲】全季に確認され、会場予定地の開放水面及び水際部で43例、会場予定地外の開放水面及び水際部で16例、夢洲の西側及び北側の海上で3例が確認された。 【舞洲】冬季及び春季に確認され、(仮称)舞洲駐車場予定地外の水際部で14例、舞洲北側の海岸沿いで49例が確認された。
タゲリ		越冬:3 NT	—	○	—	—	【夢洲】冬季に会場予定地外で1例が確認された。	

注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。  
 2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。  
 3. 「会場予定地外」及び「(仮称)舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。

表 5. 10. 15(2) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
		全国	近畿 大阪	夢洲		舞洲		
				会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
鳥類	ケリ	DD	NT	○	—	○	—	【夢洲】繁殖後期に会場予定地の草地で3例が確認された。 【舞洲】繁殖後期に（仮称）舞洲駐車場予定地の裸地で3例が確認された。
	ムナグロ		通過:3 VU	○	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で4例、会場予定地外で4例が確認された。
	ダイゼン		通過:2 VU	○	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で2例、会場予定地外で1例が確認された。
	コチドリ		繁殖:3 NT	○	○	—	○	【夢洲】春季から秋季にかけて会場予定地内外の主に水際部や裸地で75例が確認された。大阪自然環境保全協会の調査により夢洲での繁殖が確認された。 【舞洲】繁殖後期に（仮称）舞洲駐車場予定地外で1例が確認された。
	シロチドリ	VU	繁殖:3 VU	○	○	—	—	【夢洲】春季から冬季にかけて会場予定地の主に水際部で80例、会場予定地外で18例が確認された。大阪自然環境保全協会の調査により夢洲での繁殖が確認された。
	メダイチドリ	国際	通過:3 VU	○	—	—	—	【夢洲】春季から夏季にかけて会場予定地の水際部で31例が確認された。
	セイタカシギ	VU		○	○	—	—	【夢洲】春季、夏季及び秋季に確認され、会場予定地の水際部で7例、会場予定地外で5例が確認された。大阪自然環境保全協会の調査により夢洲での繁殖が確認された。
	ヤマシギ		越冬:3	—	—	—	○	【舞洲】冬季に（仮称）舞洲駐車場予定地外で1例が確認された。
	タシギ		越冬:3 NT	○	○	—	—	【夢洲】冬季、繁殖前期及び秋季に、会場予定地の水際部で3例、会場予定地外で5例が確認された。
	オオソリハシシギ	VU	通過:3 VU	○	—	—	—	【夢洲】繁殖前期に会場予定地の水際部で1例が確認された。
	チュウシャクシギ		通過:3 NT	○	—	—	○	【夢洲】春季、繁殖前期及び秋季に会場予定地の水際部で16例が確認された。 【舞洲】春季及び繁殖前期に舞洲北側の海岸沿いで13例が確認された。
	ツルシギ	VU	通過:3 VU	○	—	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で2例が確認された。
コアオアシシギ		通過:2 NT	○	—	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で3例が確認された。	

注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。  
 2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。  
 3. 「会場予定地外」及び「（仮称）舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。

表 5. 10. 15(3) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
		全国	近畿 大阪	夢洲		舞洲		
				会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
鳥類	アオアシシギ		通過:3 VU	○	○	—	—	【夢洲】春季から秋季にかけて会場予定地の水際部で19例、会場予定地外で6例が確認された。
	タカブシギ	VU	通過:3 VU	○	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で5例、会場予定地外で1例が確認された。
	キアシシギ		通過:3 NT	○	○	—	○	【夢洲】春季から秋季にかけて、会場予定地の水際部で54例、会場予定地外で3例が確認された。 【舞洲】繁殖前期に舞洲北側の海岸沿いで1例が確認された。
	ソリハシシギ		通過:3 VU	○	○	—	—	【夢洲】春季から秋季にかけて会場予定地の水際部で16例、会場予定外で1例が確認された。
	イソシギ		繁殖:2 NT	○	○	—	○	【夢洲】調査期間をとおして確認され、会場予定地内外の主に水際部で28例が確認された。 【舞洲】冬季から秋季にかけて確認され、舞洲北側の海岸沿い等で22例が確認された。
	キョウジョシギ		通過:3 VU	○	—	—	○	【夢洲】春季及び繁殖前期に会場予定地の水際部で12例が確認された。 【舞洲】春季に舞洲北側の海岸で1例が確認された。
	ミュビシギ		通過:2 NT	○	—	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で4例が確認された。
	トウネン		通過:3 NT	○	○	—	—	【夢洲】春季から秋季にかけて会場予定地内外の水際部で168例が確認された。
	オジロトウネン		通過:2 NT	○	○	—	—	【夢洲】春季、秋季、冬季に会場予定地の水際部で2例、会場予定地外で3例が確認された。
	ヒバリシギ		通過:2 VU	—	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地外で3例が確認された。
	ウズラシギ		通過:3 VU	○	○	—	—	【夢洲】春季から夏季にかけて会場予定地内外の水際部で4例が確認された。
	サルハマシギ	国際	通過:2 NT	○	—	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で1例が確認された。
	ハマシギ	NT	越冬:3	○	○	—	—	【夢洲】冬季から秋季にかけて、会場予定地内外の水際部で366例が確認された。
キリアイ		通過:2 NT	○	—	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で1例が確認された。	

注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。  
 2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。  
 3. 「会場予定地外」及び「(仮称) 舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。

表 5. 10. 15(4) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
		全国	近畿 大阪	夢洲		舞洲		
				会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
鳥類	エリマキシギ		通過:2 NT	—	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地外で1例が確認された。
	ツバメチドリ	VU	通過:2 CR+EN	○	○	—	—	【夢洲】繁殖後期及び夏季に会場予定地の草地上空で2例、会場予定地外で6例が確認された。
	ズグロカモメ	VU	通過:2 NT	○	—	—	—	【夢洲】冬季に会場予定地の水際部で1例が確認された。
	ウミネコ		繁殖: 要注	○	○	—	○	【夢洲】夏季及び秋季に会場予定地の開放水面で2例、周辺海域、会場予定地外及び舞洲北側の堤防で85例が確認された。 【舞洲】舞洲北側及び西側の海上で5例が確認された。
	コアジサシ	VU	繁殖:2 CR+EN	○	○	—	○	【夢洲】春季から繁殖後期にかけて会場予定地内外の主に裸地（砂礫地）で繁殖に係わる鳴き交わり、求愛給餌、抱卵が確認され、夢洲周辺の海上も含めて延べ456例が確認された。 【舞洲】春季から繁殖後期にかけて舞洲周辺の海上を中心に79例が確認された。
	ミサゴ	NT	繁殖:2	○	○	○	○	【夢洲】冬季から秋季にかけて会場予定地内外の人工構造物や水際部及び周辺の海上で50例が確認された。 【舞洲】冬季、春季及び秋季に（仮称）舞洲駐車場予定地内外及び周辺の海上で7例が確認された。
	チュウヒ	国内 EN	繁殖:1 CR+EN	○	○	—	—	【夢洲】冬季及び春季に会場予定地内外の草地や開放水面上空で8例が確認された。
	ハイタカ	NT	繁殖: 要注	○	○	○	—	【夢洲】冬季に会場予定地内外の草地上空で1例が確認された。 【舞洲】冬季に（仮称）舞洲駐車場予定地内の樹林上空で1例が確認された。
	コミミズク		越冬:2 VU	○	—	—	—	【夢洲】春季に会場予定地の草地上空で1例が確認された。
	カワセミ		繁殖:3	—	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地外で1例が確認された。
	チョウゲンボウ		越冬:3	○	○	○	○	【夢洲】冬季及び繁殖後期から秋季にかけて会場予定地内外の主に裸地や人工構造物上空で15例が確認された。 【舞洲】繁殖後期及び夏季に（仮称）舞洲駐車場予定地内外の草地上空で3例が確認された。
ハヤブサ	国内 VU	繁殖:3	○	○	—	—	【夢洲】冬季及び春季に会場予定地内外の主に裸地上空で5例が確認された。	

注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。

2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。

3. 「会場予定地外」及び「(仮称) 舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。

表 5. 10. 15(5) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
		全国	近畿 大阪	夢洲		舞洲		
				会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
鳥類	ヒバリ		NT	○	○	○	○	【夢洲】調査期間をとおして会場予定地内外の主に裸地や草地で 258 例が確認された。 【舞洲】調査期間をとおして(仮称)舞洲駐車場予定地内外の主に裸地や草地で 27 例が確認された。
	オオムシクイ	DD		○	—	—	○	【夢洲】秋季に会場予定地の草地で 1 例が確認された。 【舞洲】秋季に(仮称)舞洲駐車場予定地外で 1 例が確認された。
	メボソムシクイ上種	DD		—	—	—	○	【舞洲】秋季に(仮称)舞洲駐車場予定地外で 1 例が確認された。
	エゾムシクイ		繁殖:3	—	—	—	○	【舞洲】春季及び繁殖前期に(仮称)舞洲駐車場予定地外で 2 例が確認された。
	センダイムシクイ		繁殖:3 NT	—	—	—	○	【舞洲】繁殖前期に(仮称)舞洲駐車場予定地外で 1 例が確認された。
	オオヨシキリ		繁殖:3 NT	○	○	○	—	【夢洲】春季から秋季にかけて会場予定地の草地で 1 例、会場予定地外の草地で 8 例が確認された。 【舞洲】繁殖前期に(仮称)舞洲駐車場予定地の草地で 1 例が確認された。
	セッカ		NT	○	○	○	○	【夢洲】調査期間をとおして会場予定地内外の草地で 143 例が確認された。 【舞洲】春季から繁殖後期にかけて(仮称)舞洲駐車場予定地内外の主に草地で 10 例が確認された。
	コムクドリ		通過:3	—	—	○	○	【舞洲】夏季に(仮称)舞洲駐車場予定地の樹林で 2 例、秋季に(仮称)舞洲駐車場予定地外で 1 例が確認された。
	ノビタキ		繁殖:3	○	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の草地で 2 例、会場予定地外で 1 例が確認された。
	エゾビタキ		通過:3	—	—	—	○	【舞洲】秋季に(仮称)舞洲駐車場予定地外で 1 個体が確認された。
	コサメビタキ		VU	—	—	○	○	【舞洲】春季及び秋季に(仮称)舞洲駐車場予定地内外の樹林で 3 例が確認された。
	キビタキ		繁殖:3	—	—	—	○	【舞洲】繁殖前期及び秋季に(仮称)舞洲駐車場予定地外で 5 例が確認された。
	オオルリ		繁殖:3	—	—	○	○	【舞洲】春季に(仮称)舞洲駐車場予定地外で 1 例、秋季に(仮称)舞洲駐車場予定地の樹林で 1 例が確認された。
ホオアカ		繁殖:3 NT	○	—	—	—	【夢洲】冬季に会場予定地の草地で 3 例が確認された。	

注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。  
 2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。  
 3. 「会場予定地外」及び「(仮称)舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。  
 4. 「メボソムシクイ上種」にはメボソムシクイ、オオムシクイ、コムシクイの 3 種が該当するが、重要な種として指定されているのはオオムシクイのみであるため、オオムシクイの選定基準を適用した。

表 5. 10. 15(6) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
		全国	近畿 大阪	夢洲		舞洲		
				会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
鳥類	カシラダカ		NT	○	○	—	—	【夢洲】大阪自然環境保全協会の調査により、3月に夢洲3区内の樹木で少数確認された。
	アオジ		繁殖:3	○	○	○	○	【夢洲】冬季及び春季に会場予定地内外の草地で15例が確認された。 【舞洲】冬季及び春季に(仮称)舞洲駐車場予定地内外の草地で35例が確認された。
	オオジュリン		NT	○	○	○	○	【夢洲】冬季に会場予定地内外の草地や湿地で168例が確認された。 【舞洲】冬季に(仮称)舞洲駐車場予定地の草地で1例、(仮称)舞洲駐車場予定地外で1例が確認された。
両生類	トノサマガエル	NT	NT	—	○	—	○	【夢洲】夏季に会場予定地外で成体1例が確認された。 【舞洲】夏季に(仮称)舞洲駐車場予定地外で幼体1例、秋季に(仮称)舞洲駐車場予定地外で幼体1例が確認された。
昆虫類	ホソミイトトンボ		NT	—	○	—	—	【夢洲】秋季に1例が会場予定地外で確認された。
	コフキトンボ		NT	—	○	—	—	【夢洲】昆虫類調査では夏季に2例、底生生物調査では冬季と秋季に5例がいずれも会場予定地外で確認された。
	アキアカネ		NT	—	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地外で1例が確認された。
	マイコアカネ		NT	—	—	○	—	【舞洲】秋季に(仮称)舞洲駐車場予定地の草地で1例が確認された。
	ムモンミズカメムシ		NT	—	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地外の湿地で4例が確認された。
	コオイムシ	NT	NT	○	○	○	—	【夢洲】昆虫類調査では春季～秋季に会場予定地内外の水際部、湿地及び水たまりで13例が確認され、底生生物調査では夏季に会場予定地外で1例が確認された。 【舞洲】夏季に(仮称)舞洲駐車場予定地の水たまりで1例が確認された。
	ケシゲンゴロウ	NT	NT	○	○	—	—	【夢洲】昆虫類調査では春季～秋季に会場予定地内外の湿地や水たまりで8例、底生生物調査では春季及び夏季に会場予定地外で21例が確認された。
コガムシ	DD	NT	○	○	○	—	【夢洲】夏季と秋季に会場予定地内外の湿地や水たまりで6個体が確認された。 【舞洲】夏季に(仮称)舞洲駐車場予定地の水たまりで1例が確認された。	

注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。  
 2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。  
 3. 「会場予定地外」及び「(仮称)舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。

表 5. 10. 15(7) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
				夢洲		舞洲		
		全国	近畿 大阪	会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
昆虫類	コガタガムシ	VU	CR+EN	—	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地外の湿地で1個体が確認された。
	チャイロムナボソコメツキ		NT	○	—	—	—	【夢洲】夏季に会場予定地の草地で1例が確認された。
	ツシマヒメサビキコリ		NT	○	○	○	○	【夢洲】春季～秋季に会場予定地内外の草地や裸地で326例が確認された。 【舞洲】春季～秋季に(仮称)舞洲駐車場予定地内外の草地や裸地で146例が確認された。
	カワイヒラアシコメツキ		DD	—	—	○	—	【舞洲】夏季に(仮称)舞洲駐車場予定地の草地で1例が確認された。
	ジュウクホシテントウ		NT	—	○	—	—	【夢洲】春季と秋季に会場予定地外で9例が確認された。
	モンズズメバチ		DD	—	—	—	○	【舞洲】夏季に(仮称)舞洲駐車場予定地外で2例が確認された。
	アオスジクモバチ		DD	—	—	—	○	【舞洲】夏季に(仮称)舞洲駐車場予定地外で1例が確認された。
キバラハキリバチ	NT		○	—	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の草地で1例が確認された。	

- 注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。  
 2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。  
 3. 「会場予定地外」及び「(仮称)舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。

## 2. 施設の利用（施設の供用）、建設・解体工事（建設機械の稼働及び土地の改変・解体）に伴う影響の予測・評価

### (1) 環境の保全及び創造のための措置

〔供用時〕

- ・ 来場者の車両は原則として主要な通行ルート以外を通行しないよう誘導することにより、来場者の車両による騒音等の影響を可能な限り低減する。
- ・ 空調設備等は可能な限り低騒音型及び低振動型の設備を採用し、適切な維持管理を行う。
- ・ 適切な遮光フードの採用、照明器具の適正配置により、会場予定地外及び（仮称）舞洲駐車場予定地外に生息・生育する動植物への影響を可能な限り低減する。
- ・ グリーンワールド等の整備における植栽樹種は在来種を中心に設定し、静けさの森にも緑地を設置することにより動物が利用することが可能な空間とする。
- ・ ウォーターワールドは、水辺に生息する鳥類に配慮して開放水面を可能な限り確保する。
- ・ 夢洲1区の内水面付近は、2025年度末まで、草刈りなどの対策を大阪市等と調整し実施することにより、裸地を利用する鳥類が利用できるよう検討する。
- ・ ウォーターワールドの沈殿池は地盤改良工事の予定がなく、浅場や羽休め等の休息の場として鳥類の利用が可能であると考えられる。また、ウォーターワールドの南東部は、地盤改良工事で移動させた底質土砂の一部等を大阪市と連携し適切な場所に戻し、水位を回復させることで浅場となり、水辺を利用する鳥類が利用できるよう検討する。

〔工事中〕

- ・ 工事関係者による工事区域外への不要な立ち入りを禁止する。
- ・ 騒音及び振動の発生源となる建設機械は、可能な限り低騒音型、低振動型を使用する。
- ・ 夜間工事を行う場合には、工事を最小限にとどめ、適切な遮光フードの採用、照明器具の適正配置により、会場予定地外及び（仮称）舞洲駐車場予定地外に生息・生育する動植物への影響を可能な限り低減する。
- ・ 会場予定地内の工事中の雨水等は、会場予定地内南側のウォーターワールド予定地に流入させ、同地内を経由させることで、SSの除去を行う計画である。また、コンクリート打設等に伴うアルカリ性の排水はpH調整を行った後にウォーターワールドを経由して既設の余水吐より放流する計画である。
- ・ （仮称）舞洲駐車場予定地の工事では、カヤネズミを予定地周辺の生息可能な場所へ移動させるため、工事開始前の草刈りを行う際に草地の中央付近から周辺へ進め、作業を複数回に分けて実施する。
- ・ 工事の実施にあたりコアジサシの飛来が確認された場合には、「コアジサシ繁殖地の保全・配慮指針」（平成26年、環境省自然環境局野生生物課）に基づき、防鳥ネットによる被覆等の営巣防止策を実施する。また、営巣が確認された場合には、付近を原則立入禁止とする等、配慮、対策を行う。
- ・ 夢洲1区の内水面付近は、2025年度末まで、草刈りなどの対策を大阪市等と調整し実施することにより、裸地を利用する鳥類が利用できるよう検討する。
- ・ ウォーターワールドの沈殿池は地盤改良工事の予定がなく、浅場や羽休め等の休息の場として鳥類の利用が可能であると考えられる。また、ウォーターワールドの南東部は、地盤改良工事で移動させた底質土砂の一部等を大阪市と連携し適切な場所に戻し、水位を回復させる

ことで浅場となり、水辺を利用する鳥類が利用できるよう検討する。

## (2) 予測内容

建設・解体工事（建設機械の稼働及び土地の改変・解体）、施設の利用（施設の供用）による陸域動物の重要な種への影響について、現地調査結果、生態特性、事業計画及び環境の保全及び創造のための措置を踏まえて予測した。予測内容は表 5.10.16 に示すとおりである。

表 5.10.16 予測内容

予測項目	予測範囲・地点	予測時点	予測方法
陸域動物の重要な種	会場予定地及び（仮称）舞洲駐車場予定地とその周辺地域	建設・解体工事中は工事最盛期、施設の利用は開催期間中の影響が最大と想定される時期	現地調査結果、生態特性、事業計画及び環境の保全及び創造のための措置を踏まえた定性予測

## (3) 予測対象

予測対象とした重要な種は表 5.10.17 のとおり、現地調査で会場予定地及び（仮称）舞洲駐車場予定地において確認された重要な陸域動物とした。

表 5.10.17 予測対象とした重要な種

分類群	種名
哺乳類	カヤネズミ
鳥類	カモ科（ツクシガモ、マガモ、シマアジ、ウミアイサ）、トキ科（ヘラサギ）、クイナ科（オオバン）、チドリ科（ケリ、ムナグロ、ダイゼン、コチドリ、シロチドリ、メダイチドリ）、セイタカシギ科（セイタカシギ）、シギ科（タシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ツルシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、タカブシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、イソシギ、キョウジョシギ、ミユビシギ、トウネン、オジロトウネン、ウズラシギ、サルハマシギ、ハマシギ、キリアイ）、ツバメチドリ科（ツバメチドリ）、カモメ科（ズグロカモメ、ウミネコ、コアジサシ）、ミサゴ科（ミサゴ）、タカ科（チュウヒ、ハイタカ）、フクロウ科（コミミズク）、ハヤブサ科（チョウゲンボウ、ハヤブサ）、ヒバリ科（ヒバリ）、ムシクイ科（オオムシクイ）、ヨシキリ科（オオヨシキリ）、セッカ科（セッカ）、ムクドリ科（コムクドリ）、ヒタキ科（ノビタキ、コサメビタキ、オオルリ）、ホオジロ科（ホオアカ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン）
昆虫類	マイコアカネ、コオイムシ、ケンゲンゴロウ、コガムシ、チャイロムナボソコメツキ、ツシマヒメサビキコリ、カワイヒラアシコメツキ、キバラハキリバチ

## (4) 予測結果

予測結果は表 5.10.18(1)～(62)に示すとおりである。

また、本事業の施設供用及び工事期間における鳥類の生息・生育環境に配慮した整備内容やスケジュール等を整理し、検討した内容は次のとおりである。なお、本事業の後においても、大阪市において鳥類の生育環境が保全されるよう調整していく。